

注目の科目

神道学演習(宗教学)I~IV

現代社会の課題をテーマに、地域と神社の関係について考察。

地域と神社の関係について、現代的テーマ(人口減少・高齢社会・過疎化・災害復興・地域福祉・地域創生・巡礼ツーリズム)からアプローチ。宗教学・宗教社会学の専門性を用いて論じるための基礎力(課題発見力・分析考察力・要約力・プレゼン力・コミュニケーション力など)を身に付け、卒業論文の骨格となるレポートを作成します。



祭式及び同行事作法IA・B

正確な作法を修得し、作法と行事の関係性を理解。

神職の務めとして最重要視される「祭祀の厳修」。その基礎となる姿勢と作法を修得後、修祓、宮司一拝、祝詞奏上、拝礼といった行事の意義や沿革を理解し、装束(狩衣)姿で実技に取り組みます。



神道学演習(神道史)I~IV

近代から現代における「神道」について考察。

近代の政教関係(国家と神社・神道・宗教との関係)を中心に、近代神道史上の諸問題(神仏分離、国家神道、神社非宗教論、神社合祀、近代神道学など)を取り上げ、近現代の「神道」について考えます。



古典講読 I A・B(古事記)

『古事記』から神道思想と日本思想史を学ぶ。

神道において最重要の古典である『古事記』上巻の冒頭(国生みまで)を精密に講読し、神道思想および日本思想史の基礎的知識を修得。神道の世界観や死生観を理解し、説明できる力を身に付けます。

皇室概説

皇室の基礎知識と歴史を理解し、関心を高める。

日本の歴史・文化・信仰を考えるうえで重要な位置にある皇室。その歴史・制度の中でも特に神道と関わりの深い祭祀や儀礼についての基礎的知識を修得し、皇室への理解を深め、関心を高めます。

神道英語(Shinto English)

英語で神道について話せる能力を身に付ける。

外国人に通訳や案内などを行う場面を想定し、わかりやすく覚えやすい日常的な英語を用いて、「神社」と「神道」の概念と歴史、参拝のしかたなどを説明できる英語力の修得をめざします。